

事務事業名	戸籍副本データ管理システム事業		所属部局	市民部	単位番号	2013-900074					
	□ 実施計画事業		所属課室	窓口サービス課	課長名	井上 洋美					
			所属担当	戸籍住民記録担当	担当者名	齊藤 昌子					
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	21	窓口サービスの拡充	事業区分	01	一般	02	03	01	020	04	
施策	34	窓口サービスの向上		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> その他の事業
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 災害時における戸籍の正本及び副本の同時消滅を防止するための事業である。既存戸籍システムから戸籍副本データを抽出し、法務省設置の市町村専用装置を介し、戸籍データを遠隔地へ送信することにより、戸籍を安全に保管・管理することができる。この事業を行うことにより、災害時に戸籍が滅失した場合、迅速な戸籍再製が可能となり、本市の事務機能の早期完全復旧を実現することができる。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				委託費	130						
						計	130				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	既存戸籍システムから市町村専用装置を介し、戸籍届書により入力されたデータを、副本データ管理センターへ送信する。
	27年度活動予定	既存戸籍システムから市町村専用装置を介し、戸籍届書により入力されたデータを、副本データ管理センターへ送信する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	戸籍正本・副本データ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	戸籍副本データの安全な保管・管理。災害時の同時滅失の場合に迅速な再製が可能。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・遠隔地での安全な戸籍副本データの保管・管理 ・迅速な戸籍の再製実現 ・災害時における戸籍情報システム事務機能の早期復旧	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 戸籍届出書入力件数	件
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 副本データ送信回数	回
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 安全送信している件数	件
	イ トラブル対応件数	件
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 副本データ作成件数	件
	イ 正確な副本データ作成割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		1,533	130	130	130	130		
		事業費計 (A)	千円	0	1,533	130	130	130	130		0
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間		30	8	8	8	8		
		人件費計 (B)	千円	0	137	36	36	36	36		0
		(A)+(B)	千円	0	1,670	166	166	166	166		0
	活動指標	アイウ	件		3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0		
	対象指標	アイウ	回		50.0	240.0	240.0	240.0	240.0		
	成果指標	アイウ	件		29,200.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0		3,375.0
		アイウ	件		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	上位成果指標	アイ	件		29,200.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0		3,375.0
		アイ	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年3月東日本大震災による津波被害で4市町の戸籍正本が滅失し管轄法務局保管の副本データにより戸籍再製したことをきっかけに、災害等により正本・副本データの同時滅失することを防止するために構築された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	東日本大震災により、市区町村の戸籍正本と管轄法務局保存の副本データが同時に滅失する恐れがあることが想定され、今後大規模かつ広域の災害等が発生すると同時滅失の恐れがあり、正確な戸籍再製は非常に困難
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	役場等と管轄法務局等は近接して所在しているため災害時には正本と副本が同時滅失する恐れがある。この場合戸籍の再製は非常に困難であるので、災害等により戸籍制度が混乱することを防止しなければならない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	遠隔地での安全な戸籍副本データの保管管理
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	継続管理

事務事業名	戸籍副本データ管理システム事業	所属部	市民部	所属課	窓口サービス課
-------	-----------------	-----	-----	-----	---------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 災害時における戸籍正本・副本の同時滅失を防止するための保管管理は、国民の身分関係を公証するために不可欠であり、住民サービスに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 国で定められた事業であり、国民の身分関係を登録、公証するための管理・保管は、個人情報保護のため、民間に移行することはできない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 厳重な戸籍複本データの管理・保管は、災害時に戸籍が滅失したときに、迅速な事務機能の復旧が可能になり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 副本システムの構築と運用は完了していて、成果向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 災害時において、同時滅失した場合、複製が困難である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法律で定められており、廃止することはできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 導入経費であり削減することはできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 外部委託により構築しており、人件費は最小限である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 本籍人のすべての身分関係の厳重な管理・保管のための事業である。受益者負担は伴わない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この事業を実施することにより、災害時に戸籍が滅失した場合、迅速な戸籍複製が可能となり、本市の事務機能の早期完全復帰を実現することが出来る。そのため、今後も正確に副本データ管理センターにデータを送信を行い管理・保管を行っていく必要がある。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					